



柏崎市議会議員 近藤ゆかり通信



いつも大変お世話になっております。12月定例会議では、エネルギー価格・物価高騰への支援策を含むいくつかの議案を審査し、可決しました。

様々な課題が山積する柏崎ですが、皆様の安全が守られ、安心して暮らせるよう、引き続き活動してまいります。ご意見やご相談など、気軽にお寄せください。宜しくお願い致します。

柏崎市議会議員 近藤 由香里

《2期目の公約》

「前進！希望のまち柏崎へ」

- ①柏崎版エネルギーミックス推進
- ②少子高齢社会を支える人材確保
- ③子ども達が夢を描ける柏崎へ
- ④災害に強い人・地域づくり
- ⑤ふるさとの暮らしに希望を

市政ピックアップ ～12月定例会議より～

◆省エネエアコン普及促進事業補助金 1585万円

国の交付金を活用し、ご家庭での省エネエアコンへの買換えを支援します。

<議会では>

令和4年度にも補正予算を組んで同様の事業を行いました、約6割しか使われず、2713万円の執行残がありました。

今回は申請期間を延ばし、適切に予算執行される台数を見込んでいることを確認しました。



◆農業者支援事業（高温渇水被害対策営農支援金）6120万8千円

今年の夏の高温及び渇水による被害を受け、減収となった農業者（対象はコシヒカリを30a以上作付け）に対して、10aあたり4千円を補助します。

<議会では>

今回の支援は農業者の販売形態や減収の範囲、保険・共済加入の有無を問わない一律的なものとなります。

高温・渇水被害は今後も起こる可能性があり、保険・共済への加入促進など、市として更なるリスク管理支援が必要であるとの質疑・討論がありました。

◆上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定

令和6年7月1日から水道料金が20年ぶりに改訂されます。

（平均27.47%値上げ）
また給水管・排水管の工事費用は申込者負担となります。

<議会では>

柏崎市では人口減少が加速し、水道料金による収益が減り続ける一方で、施設や水道管は老朽化し、修理・更新には多額の費用がかかります。

上下水道局の赤字運営を回避し、大切なライフラインをこの先も維持するためには、致し方ない措置であると判断しました。



省エネエアコン普及促進事業補助金

国の交付金（国庫支出金）を活用し、ご家庭での省エネエアコンへの買換えを支援します。

対象者 以下の全ての条件を満たす方
・柏崎中に住民登録がある世帯主（申請日時点）
・居住する世帯に設置する省エネエアコンも、対象のエアコンに買い換える
・対象を継続していない（1世帯1台）

対象のエアコン
省エネ性能 省エネ性能100%以上
【国庫支出金2万円/台補助】

補助金額 市内店舗（エアコンを販売している店舗）から購入するエアコンの本体購入費が対象です。
市内に事業所がある店舗・市内に本社がない店舗
本体購入費の2分の1以内
【補助上限額：80,000円】
※本体購入費が20万円以内
【補助上限額：50,000円】

受付窓口 株式会社カシックス
住所：〒945-0055 柏崎市駅前1丁目4番4号 JFCビル 1階
電話番号：0257-41-5001 受付時間：午前9時から午後5時まで
※土日、祝日等の受付はできません

近藤ゆかり(後援会事務所)

〒945-0063 柏崎市諏訪町1-29
☎ 090-4534-9982
fax 050-3101-1509
✉ yurikadou@nifty.com

公式サイト



facebook



Instagram





一般質問映像
配信



公約①柏崎版エネルギーミックスの推進
公約⑤ふるさとの暮らしに希望を

1 中心市街地の再生と脱炭素のまちづくり

- (1)フォンジェ再生に向けた新たな一手
- (2)旧庁舎跡地利活用と今後のまちづくり
- (3)東京電力ホールディングス株式会社の社員異動に伴う対応
- (4)中心市街地における公共交通の将来像

★スーパー撤退により苦境に立たされる柏崎ショッピングモール・フォンジェを存続させるための今後の市の対応

★旧庁舎跡地利活用事業のプロポーザル中止による、今後の事業見直し

★令和8年度に予定される東京電力HD(株)の社員異動(駅前社屋に200人勤務予定)を生かした今後のまちづくり

★AI新交通「あいくる」利用促進と、今後の公共交通網の方向性

について質問しました。

公約②少子高齢社会を支える人材確保

2 不調を乗り越え、活躍できる社会を目指して

- (1)更年期への理解と職場における配慮
- (2)女性特有の健康課題に対する取組
 - ア 職場における理解と配慮
 - イ 学校教育における取扱い
- (3)職場復帰及び治療と仕事の両立に向けた支援
 - ア 柏崎市職員への対応
 - イ 健康経営優良法人認定制度の活用
- (4)不調の先にあるキャリア形成

★誰もが心身の不調により、仕事に専念できず、能力を十分発揮できないことがあります。

★不調な時期があっても、適切な休息や仕事上の配慮により、それぞれ持てる力を生かして活躍できる職場づくり

について質問しました。

《答弁より》

◆フォンジェに対する柏崎市としての支援は検討中であり、令和6(2024)年度予算の中で示していく。

◆旧庁舎跡地利活用事業の工事スケジュールは遅れる。予定された中央地区コミュニティセンターだけは企画通り建設するが、その他については事業内容を見直す。

◆東京電力HD(株)の社員異動を歓迎し、中心市街地活性化、経済効果、移住・定住を視野に入れ、準備を進めたい。

◆今後の柏崎市内の公共交通は、運転手不足により、さらに減便・廃止が進むと予測することから、「あいくる」の利用促進に力を入れていく。



《答弁より》

◆更年期障害を、退職や離職につながりかねない問題と受け止め、療養休暇制度の適切な活用や、相談しやすい職場環境づくりに向けた意識付け、情報提供や啓発を進めて行く。

◆妊娠、出産、育児等と仕事の両立ができる環境づくりを市役所において実践し、市全体に広がるよう支援する。学校教育では、助産師による特別授業などを通して、男女ともに女性の健康課題について学んでいる。

◆心の健康問題やがん等の治療と仕事の両立支援、職場復帰に向けた取組みを実践し、不調からの復帰者を含めた働きやすい環境の整備を推進する。